



サンコーリサイクル株式会社（尾張南支部）  
代表取締役社長 金田 英和氏夫人

## 金田 淳江 さん

え方は、「子どものやりたいように、やらせておけばいい」というもので、子どもが勉強のことを聞いたりすると、きちんと教えてはくれないですが、育て方としては、私に任せてくれています。ただ、私はどうしたらいいのか聞く方なので、つい夫にひとつひとつ聞いてしまうのですが、そんな時には、「自分で決めなさい。」なんて言われたりします。夫は、仕事の話は、家ではほとんどしませんから、うちは役割分担がはっきりしているという感じでしょうか。

「うちの女房は専業主婦。良く頑張ってくれています。」と言うご主人に、それでも「私は家と子どものことにかかりきりで、仕事のこと何もしないで、申し訳ないと思っています。」とおっしゃる淳江夫人。家庭を奥様がしっかり守っての二人三脚は、足並みもしっかり揃っているようです。

### 【子どもと家のことが私の仕事です。】

うちは子どもがまだ13歳と10歳なので、まだまだ学校の送迎とPTAでほとんどかかりきりですね。視野の広い子どもに育ててほしいという思いから、名古屋インターナショナルスクールに通わせているので、



その送り迎えも私の毎日の仕事になっています。夫の教育に対する考



### 【互いに老け込まないように心がけています。】

夫との出会いは、お見合いなんです。私の夫に対する印象は、実はあんまり良くなくて、「変なおっさん」という感じだったんですが、夫は私のことを、「良くしゃべる女だ」と思ったんだそうです。あとで聞いたら、夫は私とのお見合いが10回目くらいだったそうで、あまり気乗りがしなくて、現場で仕事をしていたままの、髪はもしやもしやで、ネクタイもしないで来たということでした。それでも私に会って、好感を持ってくれたそうなんですが、2回目に会った時に、お互いがわからなくて。駅で待ち合わせしたんですが、今度は髪もきちんとして

# 舵取り繁盛記

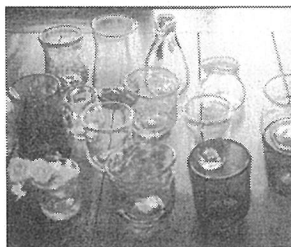


いて、全然違うかっこうでしたから、私も初めはわからなくて、夫は1回目に入った時に、気に入ってくれたといいながら、「女性の顔を覚えるのが苦手じゃなかった」というんですから、困ったものです。私が夫の顔をのぞき込んで、やっとわかったという話をすると、今でもみんなに笑われます。

結婚してから、どちらかという夫は無口で、私が一人で話している感じでした。会話のできないストレスがたまったこともあります。でも家庭をととても大切にしてくれています。夫は、年のわりには、メリハリがはっきりしている方かもしれませんね。世間的には、私の方が強いと見られがちですが、私は夫には逆らえませんし、絶対的に夫が強いんですよ。夫婦で互いに老け込まないようにしようと心がけていますが、たまに4歳も年下の私の方が年上に思われてしまうのは、不本意ですね。

## 【年々、夫はステキになってきています。】

趣味といっても今はまだ時間がなくて、思うようにできませんが、英会話を習ったり、吹きガラスを楽しんだりしています。



もともと不器用なので、うまくはできませんが、グラスを作って、お友達に差し上げたり、家で使ったりしています。夫は「手作りの温かさが

あっていいね」と言ってくれています。

子どもは大きくなったらそれぞれの道を歩むでしょうから、あとは夫婦で過ごせる状態を作っておかないといけないと思っています。今、夫婦の仲が悪いと、子どもの手が離れてから仲良くしましようといっても無理でしょうから、今からなるべく2人が一緒にいる時間を作りたいと思っていますし、夫もそう心がけてくれているようです。夫に対する要望は、今とても忙しいので、お酒の飲み過ぎに気を付けてほしいということくらい。最初の印象が悪すぎたということもありますが、結婚して年数がたつほどに、私の中で夫はステキになってきていますね。



## 《ご主人から奥様に一言》

僕が仕事にタッチさせたくないの、うちは専業主婦です。でも、子どもの送り迎えと、親と同居しているので大世帯の掃除や食事の用意で、女房はほとんど自分の時間がない状態ですが、よくやってくれていると思います。吹きガラスで作品を作ったりして楽しんでいるようですが、そういうところでうまくストレスを発散してくれたらと思っています。今はまだ子どもがついてくるので旅行も4人で、2人で出かけるのは、たまに映画を見に行くか、酒を飲みに行く程度ですが、将来は2人でのんびりと旅行したいですね。